

かじや知宏 議員報告



<生年月日>昭和43年9月12日 <年齢>43歳 <出身地>大阪府枚方市 <趣味>読書、スポーツ観戦、神社仏閣巡り <血液型>O型
<経歴>阪保育所→殿山第二小→枚方三中→牧野高→龍谷大→報知新聞社(11年)→枚方市広報課(3年3ヶ月)→行政書士

<市役所>〒573-8666 枚方市大垣内町2-1-20 電話072-841-1221代

<自宅>〒573-0171 枚方市北山1-23-57 電話090-3705-9393

Eメール tomohiro@t-kajiya.com

かじや知宏のホームページ

<http://www.t-kajiya.com>

議会改革 今年度から議員報酬を6%減額、次回選挙から議員定数2人削減し32人に

3月28日の市議会本会議において、議会改革に関する3つの条例案が可決されました。この条例案は、昨年6月に設置された「議会改革調査特別委員会」において議論を進めてきた中で、合意に至った中間報告の趣旨を実現するために同委員会より提出されたものです。主な内容としては、①平成24年4月より暫定措置として議員報酬を6%減額する、②次の一般選挙から市議会の定数を現行の34人から2人削減し32人とする、③市議会議員として兼職する都市計画審議会などの委員報酬を不支給にするの3点です。



<解説> 今回の条例改正により、議員報酬では大阪府内4番目から9番目へ(人口規模は4番目)、議員定数は人口1万人当たりの議員数で大阪府内最小(政令指定都市を除く)、全国の類似都市の中でも最小クラスとなります。報酬・定数とも各会派で様々な考えがありましたが、年度内に一定の結果を出すとの共通認識のもと、会派を代表して出ている各委員が議論を重ねた結果、それぞれの思惑を超えて結論を導き出したことは一定の成果だと感じています。今回の改革だけではまだ生ぬるいと思われるかもしれませんが、今回の報酬・定数の削減を議会改革の第一歩とし、今後もさらなる改革に努めていきます。

一方、枚方市の平成22年度普通会計決算で人件費は229億3978万円(会計全体の19.4%)、うち議員にかかる経費は4億1564万円(全会計の0.4%)です。議員自ら改革を行うことはもちろんですが、それだけではわずかな効果額しか得られません。あくまでも改革の本丸は職員の人件費です。昨年の給与改定では、人事院勧告に準拠して平均0.23%の引き下げしか行っていません。また、技能労務職員の人件費については、今年度の新入職員よりある程度民間との均衡がとれた給料表の適用が行われていますが、在職者に関しては従来からの給料表が適用されています。民間類似職種の平均と年収ベースで比較すると、清掃職員では枚方市職員662万3705円に対して民間408万5100円で格差は1.62倍。学校給食員では同じく647万7164円に対し376万7300円で格差は1.72倍。用務員では同じく675万85円に対し300万8200円で格差は2.24倍。自動車運転手では同じく627万7924円に対して401万7800円で格差は1.56倍となっています。大阪市では、市バスの運転手において給与を民間並みに削減するという動きも出てきています。今後、民間の類似職種との給与の均衡を図るか、民間委託を積極的に進めるなどの改革が必要です。もちろん、一律に人件費を削減するのではなく、頑張った職員に対してはしっかりと評価をし、給与に反映できるようなメリハリのある人事評価制度も必要であると考えます。

既得権益団体から、市民の手に税金と政治を取り戻します
持続的発展が可能な枚方をつくるため、聖域なき行財政改革に取り組みます
私の議員活動の詳細については「かじや知宏のホームページ」をご覧ください

詳しくは **かじや知宏** で **検索**

twitter @kajiya_tomohiro

携帯電話からも私の
活動記録をご覧にな
ることができます→

